

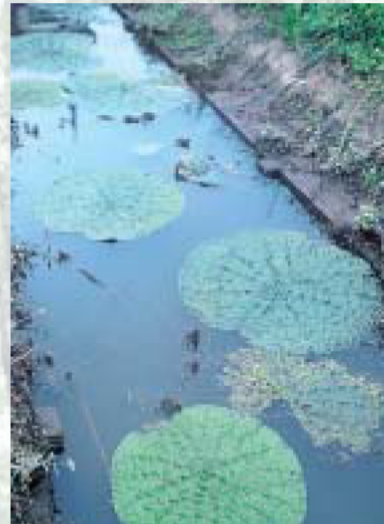
絶滅のおそれのある野生生物

カワラハンミョウ



体長約20mm。北海道南西部から九州北部に分布し、川原や海浜などの乾燥した砂地にすんでいる昆虫です。成虫は夏にみられ、小昆虫やクモなどを捕食します。人的活動による生息地の消滅などにより、減少しました。

オニバス



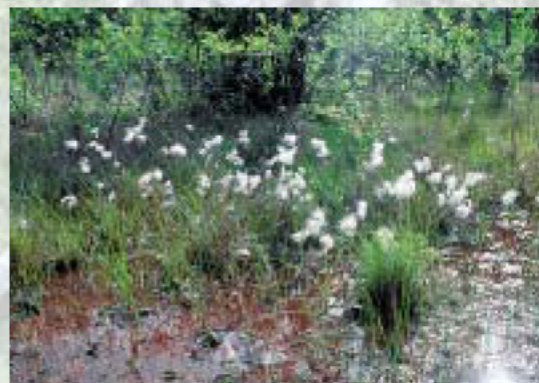
本州以南の池沼や河川の止水域に生育する一年草。全体に鋭いトゲがあり、円形の浮葉は直径1～2mに達します。8～10月に赤紫色の花を咲かせます。ハス栽培の邪魔者として刈り取られたことや他の水草の繁茂、池の水質汚濁などにより減少しました。

メダカ



体長約35mm。本州以南に分布し、水田や用水路、平地の池沼、河川の下流域、河口部などに生息しています。プランクトンや落下昆虫などを食べ、雌は水草に産卵します。乾田化や用水路の整備などにより、生息地は大きく減少しています。

サギスゲ



北海道および本州の山地から高山帯の湿地に生育する多年草。茎高20～50cmで、果時には綿状の白い小穂をつけます。分布の中心は本州中部以北にあることから、北方系の種と推定されています。西日本の丘陵地の一部にも生育しますが、これらは寒冷時代の残存個体群であり、学術上貴重です。